

WHO ファクトシート

マラリア

Malaria

2018年4月

重要な事実

- ・マラリアは、感染した雌のハマダラ蚊に咬まれることにより人々にうつされた寄生虫によって引き起こされる、命にかかわる疾病である。予防可能であり、治療可能である。
- ・2016年には、91カ国でおよそ2億1600万のマラリア症例があり、2015年から500万症例増加している。
- ・2016年のマラリアによる死亡数は、2015年の446000人とほぼ同じ445000人に達した。
- ・WHOのアフリカ地域は、世界のマラリアによる負担の不釣り合いに高いシェアを占める。2016年には、マラリア症例の90%、マラリア死亡の91%を、この地域で占めている。
- ・マラリア制御根絶のための資金は2016年には約27億USドルに上った。流行国政府からの拠出は、資金の31%に相当する8億USドルとなった。

本件ファクトシートについて、厚生労働省検疫所ホームページの[こちら](#)では全文の日本語訳が公開されていますので、ご参照下さい（改定前）

© World Health Organization

この文章は、日本WHO協会がWHOのメディアセンターより発信されているファクトシートのキーファクト部分について、2014年3月にWHO本部より付与された翻訳権に基づき作成したものです。

ファクトシートには、訳出部分以外にも当該案件に関する基本的情報や詳細情報へのリンク先などが示されていますし、また最新事情に合わせて頻繁に見直しが行われますので、更新日時の確認を含めWHOホームページでの原文をご確認ください。

Malaria ファクトシート原文は [こちら](#)